

タブレット PC を用いた映像制作学習プログラムの開発

Development of movie production learning program using a Tablet PC

学籍番号：201221583

氏名：川澄 直行

Naoyuki KAWASUMI

ICTの普及によって誰でも映像制作、映像の発信が容易に行なえるようになった。一方、中学校、高等学校（以下、中等教育）の学習指導要領の中には映像制作に関する項目が登場している。今後、中等教育の中でも映像で表現する力が必要になると考えられる。

学校における映像制作に関する取り組みはいくつか存在するが、その学習内容や学習手法に関する実証的な検討は始まったばかりであり、中等教育のカリキュラムに導入可能な映像制作学習プログラムは未だ確立されていない。そこで本研究では、映像制作学習で用いることができる教材と、中等教育のカリキュラムに導入可能な短期型の映像制作学習プログラムの開発を行なった。

文献調査と、9回の映像制作学習プログラムの実践をもとに学習方法や学習項目を選定し、学習項目をまとめた教材を制作した。それらをもとにして映像制作を学ぶ学習プログラムを開発した。この学習プログラムは2時間×3回で構成されている。また、タブレットPCを導入することで体験性の向上を図った。

本学習プログラムを能動型とし、テキストを用いて自習をする自習型、テキストをもとにした講義による学習を行なった受動型の3つの学習プログラムを実践し質問紙調査と完成作品の比較を行なった。

結果、いずれの学習プログラムでも鑑賞可能な品質の作品制作を行なうことができた。加えて、1分間あたりのカット数を比較したところ能動型は、自習型・受動型よりも2倍程度多かった。また、能動型は長期型の映画制作ワークショップを上回る体験時間を確保できていることがわかった。

以上のことから映像制作学習に用いることができる教材と、中等教育のカリキュラムに導入可能な映像制作学習プログラムを開発することできた。

研究指導教員：西岡 貞一

副研究指導教員：鈴木 誠一郎